

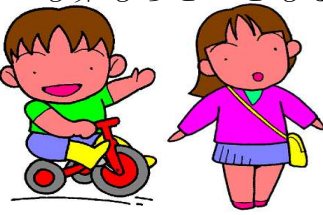
おかあさん 知ってますか? 「なきました」の約束

やくそく①

「因にかおかしなことや、嫌なことがあつたら、必ずお父さんお母さんに話す」子どもは、犯罪の被害にあつたとしても、恥ずかしいと思ったり、自分が悪いと思ったりして、話さないでいることがあります。もし、子どもの様子におかしなところがあつたら、決して叱つたりせずに、優しく話を聞いてあげましょう。また、もしも何かおかしなことがあつたら、必ず話すように教えておきましょう。このとき「お父さんやお母さんが必ず守るから大丈夫だよ」と安心させることが大事です。子どもが不安がらないように、過剰な反応をしないよう心がけましょう。いきなり「どうしてそんなに危ない場所へ行ったの!」などと叱つてしまつては、子どもが何かを話すことに躊躇するようになってしまふかもしれませ

やくそく②

「隣じよの人や、友だちのお父さんお母さんと会つたらあいさつをする」近所の住民が見ているそばで、不審者が子どもに声をかけるといふことはほとんどありません。近所の大人たちに子どもへの関心を持つてもらふことで、防犯の意識も高まり、結果として犯罪に巻き込まれる可能性も低くなります。



近所の人や友だちのお父さんお母さんあいさつをして、できるだけ大人にかわいがつてもらえるようにしましょう。親としても自分の子どもだけでなく、周りの子どもへも関心をもち、地域全体での防犯を心がけましょう。

やくそく③

「目いごになつたら、お巡りさんやお店の人に助けてもらう」街なかで迷子になつてしまつた場合、その近くを歩いている人に助けを求めてはいけません。必ず近くの交番や子ども二番の家に行かせるようにしましょう。もし、交番や子ども二番の家がなかった場合は、近くのコンビニやお店に行つて助けてもらいましょう。



やくそく④

「知らない人に声をかけられても絶対についていけない」子どもを狙う犯罪者の多くは、お菓子やおもちゃをあげると言つてきたり、「送つてあげる」と言つて車に乗せようとしたりします。もしも、知らない人にこうやつて声をかけられたら、絶対に近寄らずにきつぱりと断るようによ約束しましょう。

やくそく⑤

「帰るく遊ぶ」は「誰とどこに行つて、何時に帰るか」をどう」親にとつて、子どもの居場所がわからないうことが何より不安です。もしも何か起きてしまつたときに、すぐ対応できるようにするために、子どもに「誰とどこに出かけて、何時に帰るか」をしつかり報告させる習慣をつけましょう。



また、親が留守中にどこかへ遊びに行くときも、行き先と帰る時間をメモさせるようにしましょう。約束の時間を過ぎそうな場合は必ず連絡すること、時間を一分過ぎたら連絡することなど、細かい約束を決めておくことも大切です。

実家を離れて新生活のスタート アパート選びは「防犯」もポイントに!

進学・就職のシーズンを迎え、お子さんが実家を離れて新生活を始めることとなるご家庭も多いかと思ひます。アパートや賃貸マンションを選ぶ際、駅やバス停に近く通学・通勤に便利なことや家賃が安いこと、見た目のきれいななどを先ずお考えになると思ひますが、選ぶ際のポイントの一つに「防犯」も加えましょう。

特に、女性の場合は、留守を狙つた侵入窃盗のほか、在宅時における性犯罪目的の侵入や、下着等の干し物を狙つた色情報盗、更には、郵便受け内の郵便物等を狙つた事案等を防止するための対策が十分かどうかを考慮して選ぶことが大切です。

《選ぶ際のチェックポイント》

- ★ 共用出入口に防犯カメラが設置されているか。
- ★ 玄関ドアはツーロックか。居住者が入れ替わる際に、シリンドー錠が交換されているか。
- ★★★ インターフォンが設置されているか。窓には補助錠が設置されているか。
- ★★★ ベランダやバルコニーは、外や隣室から侵入しにくい構造か。また、外から覗かれにくい構造か。(特に、一階の部屋では重要なポイントです。)
- ★ 共用廊下や階段の明るさ(照明)は十分か。
- ★ 郵便受けは、施錠できるタイプか。オートロック式マンションでも安心はできません。親の目で、しっかりと確認してあげてください。



★ 賛助会員を募集しています

滋賀県防犯協会では、賛助会員を募集しています。(個人会員の会費は、年間一万元以上で、協会の活動資金にさせていただきます。)

防犯対策として「賛助会員の証」を玄関等に貼つてはかががです。

